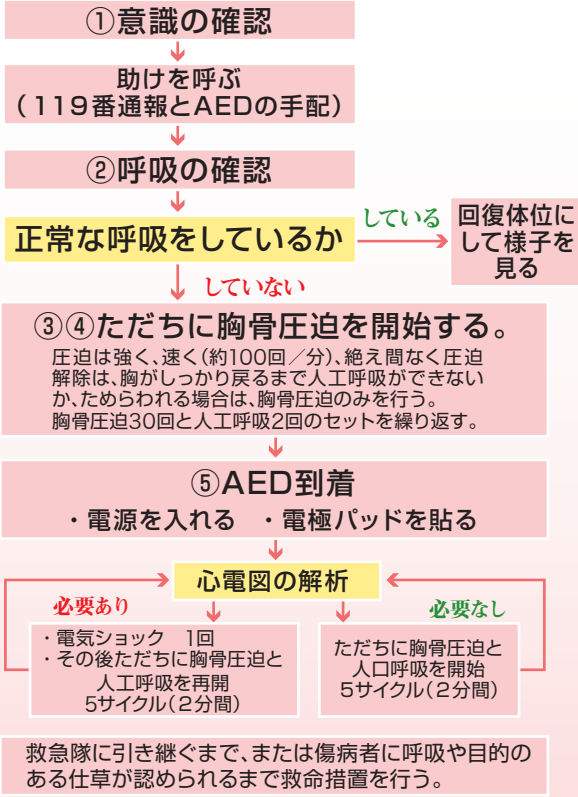


- ① 状況の把握
 - ・ すぐに応急処置を施す。
 - ② 重度の場合・119番通報し、救急車で搬送。
 - ※ 保護者への連絡事項
 - ・ 児童の状態
 - ・ いつ、どのような活動時に発生したか
 - ・ 搬送先の病院名
 - ※ 指導員への連絡事項
 - ・ 児童の状態
 - ・ いつ、どのような活動時に発生したか
 - ・ 保護者への同乗
 - ・ 救急車への同乗
 - ・ 他の子どもの対応を指導員が分担して行う。
 - ・ 緊急対応後、運営委員会に連絡する。
- ③ 軽度の場合でも、保護者に以下のことを連絡する。
 - ・ 児童の状態
 - ・ いつ、どのような活動時に発生したか
 - ・ 指導員への連絡事項
 - ④ 必ず、記録を作成する。

各種対応のポイント

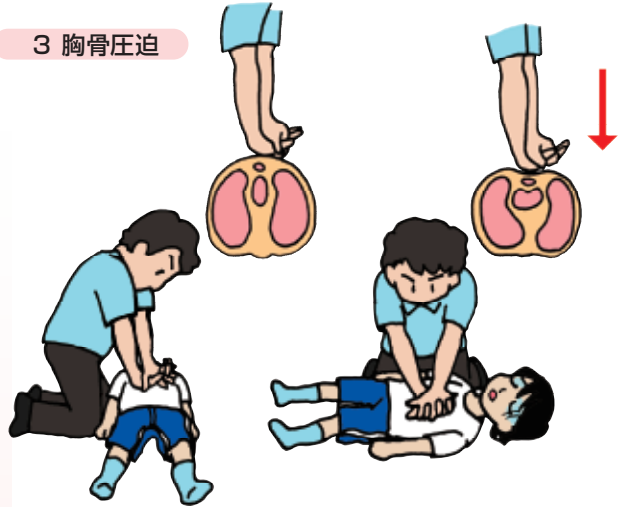
救命法のフロー図



- ① 不審者侵入時
 - ・ 手元にある物を活用し不審者の動きや移動を阻止
 - ・ 他の指導員に緊急事態を知らせ、応援を要請する。
 - ・ 不審者を刺激しないように一室に隔離または退去させる。
 - ② 児童の安全確保
 - ・ 事前に決めておいた暗号で知らせ、児童を避難させる。
 - ・ 指導員は、児童を掌握するとともに、負傷者の有無を確認し、応急処置を施す。
 - ③ 関係機関との連携
 - ・ 児童の心のケア
 - ・ 市町村の管理課に連絡
 - ・ 保護者への対応
 - ・ 再発防止策
 - ② 不審者侵入時
 - △△です。
 - 小学校に不審者が侵入しています。
 - すく来てください。
 - ④ 事後対応
 - ・ 児童の心のケア
 - ・ 市町村の管理課に連絡
 - ・ 保護者への対応
 - ・ 再発防止策

(例) 〇〇放課後子ども教室指導員の

- ③ 火災発生時
 - ① 状況把握及び安全確保
 - ・ 火災発生場所の確認と初期消火を行う。
 - ・ 消防署へ通知する。
 - ② 避難指示及び誘導
 - ・ 火災発生場所、避難経路、避難場所を児童に知らせる。
 - ・ 児童の避難誘導を行う。
 - ③ 避難場所での対応
 - ・ 児童の人員確認及び傷病者の状況の確認。
 - ・ 応急処置を施す。
 - ④ 事後処置と対応
 - ・ 児童の保護者へ連絡し、引き渡しを行う。
 - ④ 教室外の事件・事故発生時
 - ① 状況の把握
 - ・ 当該児童の氏名、負傷状況、搬送先を確認する。
 - ・ ただちにコーディネーターに連絡をする。
 - ② 保護者への対応
 - ・ 保護者へ事故の連絡を行う。
 - ・ ただちに当該児童を見舞う。
 - ③ 関係機関との連携
 - ・ 収容先病院にて負傷状況を把握する。
 - ・ 警察署にて事故の情報収集を行う。



- 3 胸骨圧迫
- 心臓の拍動が停止したり、心臓の機能が著しく低下して血液を送り出せない場合に行う。
- ① 傷病者を固い床面に上向きで寝かせる。
 - ② 傷病者の片側、胸のあたりに両膝をつき、傷病者の胸骨の下半分(胸の真ん中)に片方の手の手掌基部を置き、その上にもう一方の手を重ねる。
 - ③ 両肘を伸ばし、脊柱に向かって垂直に体重をかけて、胸骨を胸の厚さの1/3程度押し下げる。
 - ④ 手を胸骨から離さずに、速やかに力を緩めて元の高さに戻す。
 - ⑤ 胸骨圧迫は毎分約100回のテンポで行う。

- ⑤ 地震・津波発生時
 - ① 安全確保
 - ・ たちだちにもぐりよう指示する。
 - ・ 火気使用時は消火し、ガスの元栓を閉める。
 - ② 状況の把握
 - ・ 地震の被害状況を把握する。
 - ・ 負傷者がいる場合は、応急処置を施す。
 - ・ 地域全体の被害状況や津波警報の発令有無等について把握する。
 - ③ 避難指示
 - ・ たちだちに避難指示を行う。
 - ・ 余震に備え、安全な場所へ児童の避難。
 - ・ 避難経路及び避難場所における誘導と安全確保を行う。
 - ・ 逃げ遅れた児童がいまいか確認する。
 - ④ 避難場所での対応
 - ・ 名簿による人員確認と負傷者の状況の確認。
 - ・ 負傷者の応急処置を施す。
 - ・ 震度5強以上の場合は、原則として保護者に連絡し、引き渡す。
 - ⑤ 津波警報発令時の対応
 - ・ 原則として、児童は学校に留め置く。
 - ・ 学校ではないところで実施の教室は、児童の安全を最優先した場所に避難する。
 - ・ 警報が解除されるまで避難場所を待機する。

備忘一覧

いざという時に、すぐに連絡が必要な場所の電話番号を各自で書き込んでおきましょう。

- (例) ・ 病院 (救急、小児科、整形外科、歯科 等)
- ・ 行政の担当課 ・ コーディネーター など

緊急連絡先	
()	()
()	()
()	()
()	()
()	()

救急・消防 119番 警察 110番

いざという時に、すぐに必要なものを記録しておきましょう。

- (例) ・ AED ・ 救急箱 など

保管してある物の場所	
()	()
()	()
()	()
()	()